文書番号

　　年　　月　　日

神 奈 川 県 知 事　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施設(病院)名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施設(病院)管理者名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　提供依頼申出者　所属（科）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職名

印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

全国がん登録における神奈川県がん情報の提供について（申出）

標記について、がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）（第20条）の規定に 　　　　　、別紙のとおり当≪ 病院等名称 ≫から届出がされたがんに係る

基づき

準じ

の提供の申出を行います。

神奈川県がん情報

法第22条第１項第１号に掲げる情報

1　申出に係る情報の名称（該当するものを記載すること）

別紙

**全国がん登録における神奈川県がん情報**

**匿名化が行われた神奈川県がん情報**

**法第22条第１項第１項に掲げる情報**

2　情報の利用目的（該当する方を記載すること）

※がんに係る調査研究のための場合は、具体的に利用目的及び必要性を記載すること。

**院内がん登録のため**

**がんに係る調査研究のため**

　　　具体的な利用目的及び必要性

　　　○

　添付：　研究計画書等

　添付：　委託の場合は委託契約書等

または様式第６－１号（委託契約締結前における申告書）

3　利用者の範囲（氏名、所属機関、職名）

添付：様式第３号（誓約書）

添付：調査研究の一部を委託している場合は、委託契約書

または様式第６－２号（委託契約締結前における申告書）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属機関 | 職名 | 役割 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※全ての利用者分、表を追加すること。

　※所属機関が複数ある場合は、すべての所属機関及び所属する機関における職名または立場を記載すること。

4　利用する情報の範囲

ア　診断年次

○　　年

5　利用する登録情報及び調査研究方法（院内がん登録のための場合は省略可）

ア　利用する登録情報

※必要な限度で**別紙に○**をつけること

イ　調査研究方法　（具体的に記載すること）

　　　※集計表の作成を目的とする調査研究の場合、作成しようとしている集計表の様式案を添付すること。

　　　※統計分析を目的とする調査研究の場合、実施を予定している統計分析手法を具体的に記述すること。

　　○

6　利用期間

※必要な限度の利用期間を記載すること

　○

7　利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

※利用者の安全管理措置に基づき、具体的に記載すること。

ア　情報の利用場所

　　　※利用場所が複数ある場合は、すべて記載すること。

イ　情報の利用場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

　　＊のないものについては、必須措置である。

　　＊のあるものについても、措置されていることが望ましい。

（組織的）

＊　統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を、整備している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（物理的）

＊　個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。

＊　利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。

＊　利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。

＊　機器類（ﾌﾟﾘﾝﾀ、ｺﾋﾟｰ機、ｼｭﾚｯﾀﾞなど）は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。

＊　個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

ウ　情報の利用時の電子計算機等の物理的及び技術的安全管理措置状況について

（技術的）

　システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。

　情報を取り扱うPC及びサーバは、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定を行っている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを8桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。

　外部ネットワークと接続する電子媒体（USBメモリ、CD-Rなど）を、情報を取り扱うPC等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。

　情報を取り扱うPC等は、安全管理上の脅威（盗難、破壊、破損）、環境上の脅威（漏水、火災、停電）からの保護にも配慮している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

＊　個人情報を取り扱うPC等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線の環境である。

＊　個人情報を取り扱うPC及びサーバは、生体認証と他の方法との組み合わせによる多要素認証としている。

＊　情報を取り扱うPC及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

エ　情報、中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

（物理的）

　情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。

　情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

8　調査研究成果の公表方法及び公表予定時期（院内がん登録のための場合は省略可）

※複数の媒体で公表予定の場合は、公表予定時期を含めてすべて記載すること。

　○

9　情報等の利用後の処置

　○

10　その他

※事務担当者及び連絡先等を記載する。

　　※他、必要事項があれば記載する。